

延岡市 子どもと子育て家庭の生活ニーズに関するアンケート調査(教職員等)

- 調査対象 市立の小学校・中学校・義務教育学校の教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
- 調査期間 令和4年10月
- 調査方法 学校を通して教職員等に依頼文を配布
- 回答方法 Webによる回答
- 回収票数・回収率 配布数770 回収票数304 回収率39.5%

【問1】あなたの性別を教えてください。(ひとつに○)

(%)

	男性	女性	その他	計
教職員等	47.7	52.0	0.3	100.0

【問2】あなたは何歳ですか。(ひとつに○)

(%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
教職員等	18.8	15.8	23.4	33.6	8.6	100.0

【問3】あなたはどの地区で働いていますか。地区が複数にまたがる場合は、最も長い時間働いているものを1つ選択してください。(ひとつに○)

(%)

	岡富地区	川中地区	恒富地区	東海地区	伊形地区・土々呂地区	南方地区	南浦地区	北方地区	北浦地区	北川地区	無回答	計
教職員等	16.1	4.3	22.4	11.5	13.8	3.9	6.9	7.2	6.6	6.3	1.0	100.0

【問4】あなたが働かれている機関はどれですか。複数ある場合は、主なものを1つ選択してください。(ひとつに○)

(%)

	小学校	中学校	無回答	計
教職員等	58.6	40.8	0.7	100.0

【問5】あなたはどのような立場でお仕事をされていますか。複数ある場合は、主なものを1つ選択してください。(ひとつに○)

(%)

	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	スクールカウンセラー	その他	無回答	計
教職員等	67.4	5.3	1.0	11.5	0.3	14.1	0.3	100.0

【問6】あなたは今の学校で満何年働かれていますか。また、SCの方は、現在受け持っている学校のうち最も長い期間を選択してください。(ひとつに○)

(%)

	1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～12年	13～15年	16～19年	20年以上	わからない	無回答	計
教職員等	28.9	46.7	20.4	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	100.0

【問7】あなたは、どのような状況にある子どもを「貧困状況にある」とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

(%)

	子どものいる世帯が生活保護を受給している	世帯が児童扶養手当を受給している	世帯が就学援助を受給している	子どもが食事を十分にとれていない	子どもの教育に十分お金がかけられていない	子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない	子どもが医療にかかるのを控えている	子どもの住環境が劣悪である	その他	わからない	計
教職員等	50.3	24.7	31.9	86.8	53.9	64.5	69.7	78.0	0.3	4.3	464.5

【問8】本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている児童・生徒を把握していますか。(ひとつに○)

(%)

	把握している	把握していない	無回答	計
教職員等	19.7	79.9	0.3	100.0

【問8-1】問8で「把握している」と回答した方にお聞きします。その児童・生徒は学業と両立していると感じますか。(ひとつに○)

(%)

	両立している	どちらとも言えない	両立していない	無回答	計
教職員等	16.7	55.0	28.3	0.0	100.0

【問8-2】問8で「把握している」と回答した方にお聞きします。その児童・生徒の家庭は貧困状況にあると感じますか。(ひとつに○)

(%)

	感じる	感じない	無回答	計
教職員等	48.3	50.0	1.7	100.0

【問9】あなたはこの5年間で、貧困状況にある児童・生徒の家庭は増えてきていると思いますか。(ひとつに○)

(%)

	随分と増えている	やや増えている	あまり変わらない	やや減っている	減っている	わからない	無回答	計
教職員等	8.6	42.8	19.1	0.3	0.0	28.9	0.3	100.0

【問10】これまでのあなたのご経験から見て、貧困状況にある子どもはどのような特徴がありますか。(虐待と区別する必要はありません。)(あてはまるものすべてに○)

(%)

	衣服が前日と変わっていない、または組み合わせが少ない	衣服・制服・体操服の汚れや傷みがみられる	異臭がする	シラミがみられる	家庭的な事情から朝食を食べていない	保護者が保育費や校納金・給食費等を滞納する	費用負担がでず、遠足・修学旅行等に参加しなかった	保護者が参観日に来れない(休めない)	夜間、子どもだけで過ごしている	自宅で勉強をできる環境がない	必要な医療を受けていない	他の子どもたちと同じものを持っていない
教職員等	43.4	71.1	69.7	23.0	52.0	63.2	41.8	16.8	45.1	33.9	53.3	36.8

	両親が不仲である	ひとり親家庭である	家庭が地域から孤立して言える	親から必要以上に干渉されている	親から過度の期待をかけられている	親から放任(ネグレクト)されている	親から身体的虐待等を受けている	親が家庭を顧みていない	子どもが家事や家族の世話を日常的に行っている	引越したり転校が多い	学校の授業が理解できていない	学校に友人がいない
	8.6	19.4	24.7	3.9	3.6	59.5	26.6	42.1	35.2	10.9	18.4	6.6

	学校でいじめを受けている	不登校を経験している	進学を断念している	自傷行為をしたことがある	家庭内暴力がある	非行や非行に繋がる問題行動がある	その他	学校を中退している	子どもが就職後1年以内に離職している	計
	4.6	15.8	22.0	8.9	0.0	21.1	1.3	6.6	3.0	892.8

【問11】これまでのあなたのご経験の中で、貧困状況にある児童・生徒は、どのような項目において不足がみられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(%)

	読み書き・計算などの基礎的な学力	心の状態の安定性・心身の健康	健全な生活習慣・食習慣	コミュニケーション能力	共感性・協調性	他者への信頼感	自己表現力	自己肯定感・自尊心	忍耐力・自制心	周囲からの評価への適切な反応	認知(ものの見方・考え方・価値観)	生活自立能力
教職員等	39.1	73.7	78.0	27.6	16.4	29.9	22.7	54.9	17.4	13.2	22.4	18.4

	意欲・チャレンジ精神	その他	わからない	計
	29.3	0.0	7.9	413.8

【問12】あなたの所属する学校における支援の取組についておたずねします。あなたの所属する学校では、貧困状況にある児童・生徒や親に対して、どのような支援を行っていますか。(①から⑨のそれぞれひとつに○)

① 家庭訪問

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	8.6	22.0	23.4	10.2	33.9	2.0	100.0

② 日中の居場所(読書等)の提供

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	15.5	8.2	12.5	20.4	40.5	3.0	100.0

③ 食事の提供(登校後の朝食支援等)

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	0.3	2.3	7.9	41.8	45.7	2.0	100.0

④ 相談(育児、発達、教育、生活相談等)

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	6.9	31.3	22.0	7.9	29.3	2.6	100.0

⑤ 健康診断への介入(生活課題の早期発見等)

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	2.6	12.5	26.3	17.8	36.5	4.3	100.0

⑥ 経済支援(就学援助費、児童扶養手当等)の勧め

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	5.3	22.4	30.3	9.5	29.9	2.6	100.0

⑦学習支援(習熟度別指導や放課後補習等)

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	16.4	20.1	19.1	12.5	29.9	2.0	100.0

⑧進学指導

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	3.9	18.4	24.3	10.5	39.5	3.3	100.0

⑨その他

(%)

	よく行っている	ときどき行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない	該当せず	無回答	計
教職員等	2.6	5.3	9.5	14.8	49.3	18.4	100.0

【問13】公的支援についておたずねします。関わっているご家庭に就学援助を個別に紹介したことはありますか。(ひとつに○)

(%)

	紹介したことがある	紹介したことがない	無回答	計
教職員等	23.7	76.0	0.3	100.0

【問14】生活困窮がうかがえ、何らかの公的支援が必要な家庭で、就学援助や生活保護などを受給していない家庭がクラス内もしくは校内で見受けられますか。(ひとつに○)

(%)

	みられる	みられない	わからない	無回答	0	0	計
教職員等	8.2	38.5	53.0	0.3	0.0	0.0	100.0

【問14-1】問14で「みられる」と回答した方にお聞きします。受給をしない理由はなぜだと考えられますか。(ひとつに○)

(%)

	制度や手続き(窓口)がよく知られていない	申請をしたが認定されなかった	保護者に申請意思が見受けられない	わからない	無回答	0	計
教職員等	24.0	4.0	56.0	12.0	4.0	0.0	100.0

【問15】あなたは普段、他の機関の人と、貧困状況にある児童・生徒についての情報をやり取りする機会がありますか。(ひとつに○)

(%)

	週1回以上ある	月1～数回程度ある	年に1～数回程度ある	やり取りする機会はない	無回答	0	計
教職員等	0.7	9.9	16.4	72.7	0.3	0.0	100.0

【問15-1】問15で「週1回以上ある」「月1～数回程度ある」「年に1～数回程度ある」と回答した方にお聞きします。どの機関の人とどのような機会でのやり取りが多いですか。(①から⑯のそれぞれひとつに○)

①保育所・幼稚園・認定こども園

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	3.7	17.1	0.0	6.1	2.4	45.1	25.6	100.0

②小学校・中学校

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	42.7	30.5	4.9	4.9	2.4	4.9	9.8	100.0

③高等学校

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	3.7	11.0	2.4	4.9	1.2	46.3	30.5	100.0

④児童クラブ・児童館

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	15.9	9.8	4.9	2.4	1.2	36.6	29.3	100.0

## ⑤子ども関連福祉施設

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	22.0	15.9	2.4	11.0	6.1	18.3	24.4	100.0

## ⑥子ども関連ボランティア団体・NPO法人

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	6.1	6.1	7.3	4.9	3.7	42.7	29.3	100.0

## ⑦子ども食堂

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	3.7	2.4	0.0	2.4	6.1	56.1	29.3	100.0

## ⑧社会福祉協議会

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	9.8	19.5	0.0	4.9	2.4	37.8	25.6	100.0

## ⑨民生委員・児童委員

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	17.1	24.4	7.3	4.9	2.4	19.5	24.4	100.0

## ⑩(県)保健所

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	6.1	2.4	1.2	0.0	2.4	57.3	30.5	100.0

## ⑪(県)児童相談所

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	20.7	9.8	4.9	2.4	4.9	28.0	29.3	100.0

## ⑫(市)生活福祉課

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	14.6	7.3	7.3	1.2	4.9	36.6	28.0	100.0

## ⑬(市)障がい福祉課

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	7.3	4.9	6.1	0.0	2.4	51.2	28.0	100.0

## ⑭(市)こども保育課

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	12.2	4.9	6.1	1.2	2.4	43.9	29.3	100.0

## ⑮(市)おやこ保健福祉課

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	22.0	4.9	3.7	2.4	1.2	37.8	28.0	100.0

⑩(市)なんでも総合相談センター

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	63.4	29.3	100.0

⑪(市)男女共同参画推進室

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	58.5	29.3	100.0

⑫(市)教育委員会

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	41.5	7.3	2.4	1.2	2.4	15.9	29.3	100.0

⑬その他

(%)

	通常の業務	連絡会議や協議会等の会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この機関とやりとりがない	無回答	計
教職員等	0.0	4.9	1.2	0.0	3.7	45.1	45.1	100.0

【問16】あなたは、他の機関で受けられるサービスを、貧困状況にある家庭に対し、紹介することがありますか。(ひとつに○)

(%)

	週1回以上紹介する	月1回～数回程度紹介する	年に1回～数回程度紹介する	紹介することはない	無回答	計
教職員等	0.0	0.7	15.1	82.6	1.6	100.0

【問16-1】問16で「週1回以上紹介する」「月1回～数回程度紹介する」「年に1回～数回程度紹介する」と回答した方にお聞きします。どの機関の人とサービスの紹介をすることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

(%)

	保育所・幼稚園・認定こども園	小学校・中学校	高等学校	児童クラブ・児童館	子ども関連福祉施設	子ども関連ボランティア団体・NPO法人	子ども食堂	社会福祉協議会	(県)保健所	(県)児童相談所	(市)生活福祉課	(市)障がい福祉課
教職員等	4.2	18.8	4.2	6.3	22.9	14.6	25.0	20.8	22.9	2.1	35.4	25.0
	(市)こども保育課	(市)おやこ保健福祉課	(市)なんでも総合相談センター	(市)男女共同参画推進室	(市)教育委員会	その他	計					
	2.1	16.7	16.7	2.1	0.0	16.7	100.0					

【問16-2】問16で「紹介することはない」と回答した方にお聞きします。他の機関で受けられるサービスを紹介しない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

(%)

	自分の所属する機関で対応可能であるため	他の機関と連携がとれないため	他の機関で受けられるサービスについての知識・情報が少ないため	たらい回しにするよう求められるため	忙しくて時間が足りないため	貧困状況にある子どものケース数が少ないため、紹介する機会が少ない	その他	計
教職員等	7.6	7.2	26.7	0.8	5.6	59.8	10.4	100.0

【問17】あなたは、貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

(%)

	保護者との接触・信頼関係づくりが難しい	子どもとの関わり方が難しい	支援に用いることができる制度が少ない	支援者間での連携が難しい	そもそも貧困状態かどうかの判別ができない	その他	特にな	わからない	無回答	計
教職員等	63.5	10.5	10.5	17.4	56.6	1.0	0.3	11.2	1.0	100.0

【問18】あなたは、貧困状況に置かれた児童・生徒や親に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。特に必要だと思う番号を5つまで選んでください。

(96)

	経済的支援	親の就労のための相談や情報提供が受けられること	親の就労に必要な職業訓練や資格取得にかかる費用を助成してもらえること	行政などの相談窓口での担当者の増員や質的向上	学校を拠点とした教育、福祉、保健等の組織的な連携	様々な方面の支援者や支援機関等が連携して支援するためのネットワークづくり	総合相談窓口の設置	訪問による早期発見や生活支援	保育サービスの提供(病児保育・送迎支援等も含む)	公的援助(就学援助・医療費助成など)の拡充	気軽に参加できる地域の取り組み(身近な知り合いづくり)	親と子どもそれぞれの居場所(ホッとできる、身近な相談)の提供
教職員等	41.8	43.1	23.4	18.4	21.1	31.3	15.1	30.3	8.6	24.0	10.2	13.8

	フードバンク(寄付による食糧提供支援)の拡充	学校において子どもの生活支援などを行う専門家(スクールカウンセラー等)の配置・拡充	教職員の追加配置または業務軽減	学校内での少人数の習熟度別指導や放課後補習	子どもへの学校以外での学習機会の提供(無料塾等)	子どもへの文化的活動(自然体験学習、スポーツ等)の機会の提供	子どもへの食事の提供(子ども食堂等)	子どもの進学・就労に関する相談や情報提供が受けられること	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	親の健康状態や精神状態の把握及び受診勧奨	女子児童生徒への生理用品支給	子どもへの教育の重要性(学歴と年収の因果関係等)について親に認知させること
	8.9	12.8	18.1	6.3	6.9	2.0	10.5	5.6	11.2	8.6	3.6	8.9

子どもの教育・福祉等に関する複数データを活用したリスクのある家庭の早期発見の取組	その他	わからない	子どもの塾・習い事にかかる費用が軽減されること	計
7.9	0.3	5.3	1.0	100.0